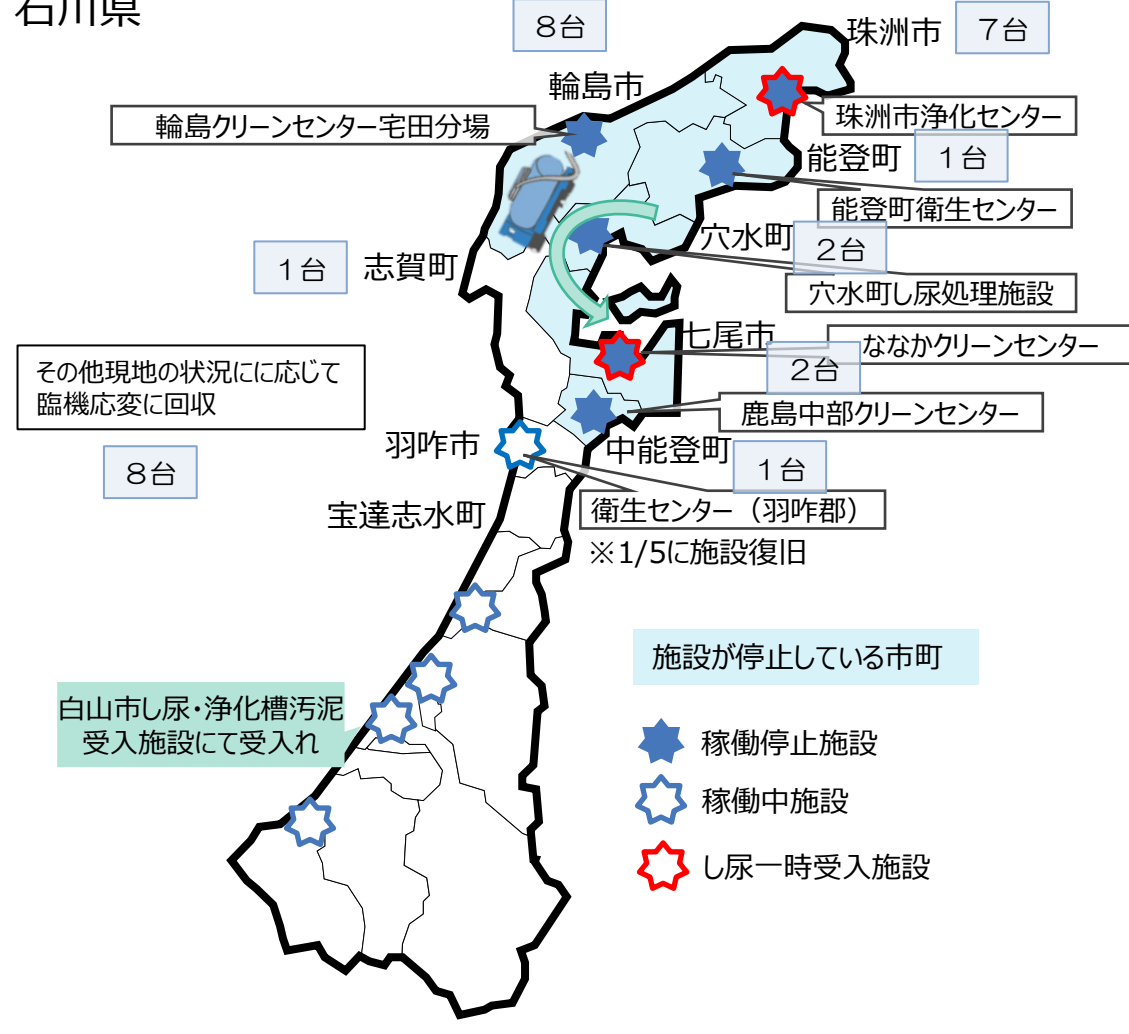


避難所のし尿処理の状況について

令和6年1月9日
環境省

石川県

し尿処理施設の状況（1月9日時点）



【現状】

- 仮設トイレに溜まったし尿はバキュームカーで回収。
※簡易トイレについては使用後に固形ごみとしてパッカー車で回収。
- バキュームカーは現在30台体制で回収。
※現地では民間設置の仮設トイレ等も多数存在し、回収ルートから漏れているものも存在。設置状況の把握、バキュームカーによるし尿回収先の追加を実施。
※孤立地域にある避難所については、孤立が解消され次第、し尿の回収を実施。

【課題】

- ① 仮設トイレの急速な増設に対する回収体制の強化が課題。能登地域のし尿処理施設稼働停止により、搬入先の白山市の処理施設までの輸送距離が長くなり、作業効率が低下。
- ② 簡易トイレからの固形ごみも回収が追いついていない可能性。
- ③ トイレの適切な使用（トイレットペーパーの適量の使用、使用後の手洗い）が徹底されないことで、仮設トイレの紙詰まりや衛生環境の悪化につながる恐れ。

【対応】

- ① 今後も適宜バキュームカーの回収体制を拡充。停止中のし尿処理施設の受入タンクを一時貯留の中継基地として活用することで、バキュームカーの作業効率向上を図る。（七尾市・珠洲市の施設が1月8日から受入れ開始）
- ② 固形ごみ回収についても、他自治体からのごみ収集車の応援派遣による体制強化を順次実施。
- ③ トイレの適切な使用法について、貼り紙の配布による各避難所への周知を進めるとともに、医系技官（審議官級）を現地に派遣。



【仮設トイレからのし尿回収の流れ（イメージ）】



【参考：簡易トイレの場合】

